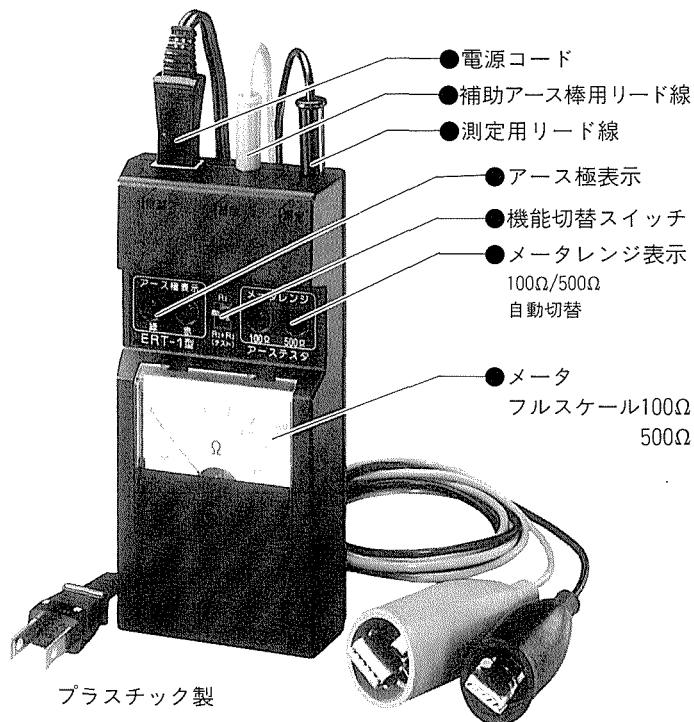


アーステスタ ERT-1



- 第二種接地抵抗値が十分低い市街地等では、補助アース棒なしで商用電源コンセントに本器のプラグを差し込むだけで簡単に測定できます。
- 簡単な補助アース棒（例えば5寸クギ、電工ドライバー等）を使用すれば、第三種接地抵抗値のみが簡単に測定できます。
- 電源コンセントのアース極の判別ができます。
- メータのレンジは自動切替で目盛りは均等となっており容易に直読できます。
- 被測定回路に漏電遮断器があっても不要動作させることなく測定できます。
- 低い周波数で測定するので、対地容量の影響が少なくまた、地電圧10V以下の場合には測定誤差は無視できます。
- 自己チェック機能をもっており安心してご使用いただけます。
- 電池、バッテリー等の補助電源が不要です。
- 日本電気計器検定所で性能を十分、満足していることの証明を受けています。

試験成績書

検定番号: 10000000000000000000

検定品名: アーステスタ ERT-1

検定場所: 日本電気計器検定所

検定日: 平成 10 年 10 月 10 日

検定結果: 合格

検定項目: 1. 機能切替スイッチ 2. メータレンジ表示 3. 測定用リード線 4. 補助アース棒用リード線 5. 電源コード

検定値: 1. 機能切替スイッチ: 100Ω/500Ω 2. メータレンジ表示: 100Ω/500Ω 3. 測定用リード線: 100Ω/500Ω 4. 補助アース棒用リード線: 100Ω/500Ω 5. 電源コード: 100Ω/500Ω

第3種の接地抵抗管理が容易!

アース抵抗の測定は都市化が進むにつれて道路舗装や工場構内の舗装により測定用に使用する補助アース棒の打ち込み場所がないとか打ち込み箇所との距離が十分にとれないなど、測定に際して何かと面倒になっています。

また身近な例として、家庭の電気温水器、電子レンジやクーラ等で、せっかくアース棒が打たれていても肝心のアース抵抗値が全く無視され、測定もされず管理されていないのが現状で、電気安全面の上で問題があります。

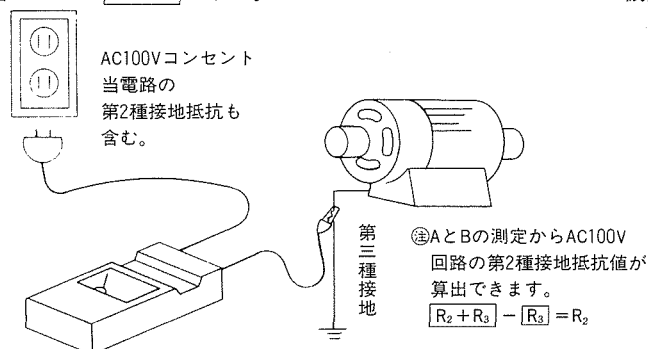
本器は補助アース棒を使用しない場合は、変圧器二次側の第二種接地抵抗を含めた、第三種接地抵抗値が従来の接地抵抗計にみられない簡単な操作で測定でき、補助アース棒を使用した場合は、第三種接地抵抗値のみが容易に測定できるようにしたものです。

型式	ERT-1
測定範囲	100Ω、500Ω フルスケール(2レンジ)
測定精度	±5% (フルスケール)
測定周波数及び波形	定格周波数50Hzの場合25Hz } 基本波とする方形波 定格周波数60Hzの場合30Hz }
測定電流	約100μA
定格電圧	AC100V
定格周波数	50/60Hz
使用温度範囲	-10℃～50℃(結露なき事)
地電圧の影響	地電圧10Vまで測定誤差±2.5%以内
消費電力	約0.65W
重量	350g (リード線、電源コードを除く)
外形寸法	150×75×32mm (タテ×ヨコ×フカサ)
付属品	●測定用リード線1本(2m) ●補助アース棒用リード線1本(2m) ●電源コード1本 ●補助アース棒1本 ●収納ケース1コ

型式	ERT-1
ご注文品番	ERT1
ユーザー価格(円)	19,800

第2種接地抵抗値+第3種接地抵抗値の測定

機能切替スイッチ $R_2 + R_3$ にする。



第3種接地抵抗値の測定

機能切替スイッチ R_3 にする。補助接地抵抗は50kΩ以下であれば良い。

